

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	九州国際情報ビジネス専門学校
設置者名	学校法人九州国際学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	「令和元年度貸借対照表」を学校事務室にて備え付け、公表している。
収支計算書又は損益計算書	「令和元年度収支計算書」を学校事務室にて備え付け、公表している。
財産目録	「令和元年度財産目録」を学校事務室にて備え付け、公表している。
事業報告書	「令和元年度事業報告書」を学校事務室にて備え付け、公表している。
監事による監査報告（書）	「令和元年度監査報告書」を学校事務室にて備え付け、公表している。

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	情報システム科 エンジニアコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2275 単位時間/単位	1200 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	1075 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			2275 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人 (情報システム科 総定員)		23	0	2	0	2	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要)</p> <p>シラバスの作成手続きに関しては、年度前に学内の検討委員会で検討したうえで、共通のフォーマットを策定し、作成している。</p> <p>また「学生の手引き」に掲載して、入学時期に行うガイダンスにおいて周知を図っている。</p>
成績評価の基準・方法
<p>(概要)</p> <p>成績評価をA～Dの4段階で行っている。</p> <p>成績分布において、下位4分の1がDに相当する。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>(概要)</p> <p>【進級条件】</p> <p>① 1年次の各科目毎の出席率90%以上であること</p> <p>② 1年次の各科目毎の成績評価がすべてC以上であること</p> <p>③ 1年次の検定取得状況が良好であること</p> <p>④ 学費等の納入が完了していること</p> <p>【卒業条件】</p> <p>① 卒業年次の出席率が90%以上であること</p> <p>② 原則として、卒業年次の各科目毎の成績評価がすべてC以上であること</p> <p>③ 学費等の納入が完了していること</p> <p>※上記に加えて、進級・卒業条件として、該当レベルの認定試験に合格、若しくは同等レベルを要してはならない。認定会議においてその認定を行う。</p>
学修支援等
<p>(概要) 選考料免除制度、指定校推薦制度、コスметト奨学生制度、コスметト特待生制度、マスター特待生制度、兄弟姉妹奨学生制度等により学修支援を実施している。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
8人 (100%)	1人 (12.5%)	6人 (75%)	1人 (12.5%)
(主な就職、業界等) IT 業界			
(就職指導内容) 筆記試験対策・面接対策・業界研究など			
(主な学修成果(資格・検定等)) IT パスポート・基本情報技術者・応用情報技術者・イラストレーター・フォトショップ等			
(備考)(任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
23人	3人	13.0%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 早期個人面談の実施・保護者への定期的情報伝達・兆候が認められる生徒への担任・教務部長を交えた状況確認及び個別対応		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	情報システム科 3DCG コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2275 単位時間/単位	820 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	1472 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			2292 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人 (情報システム科 総定員)		11	0	2	0	2	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) シラバスの作成手続きに関しては、年度前に学内の検討委員会で検討したうえで、共通のフォーマットを策定し、作成している。 また「学生の手引き」に掲載して、入学時期に行うガイダンスにおいて周知を図っている。
成績評価の基準・方法
(概要) 成績評価をA～Dの4段階で行っている。 成績分布において、下位4分の1がDに相当する。
卒業・進級の認定基準
(概要) 【進級条件】 ⑤ 1年次の科目毎の出席率90%以上であること ⑥ 1年次の科目毎の成績評価がすべてC以上であること ⑦ 1年次の検定取得状況が良好であること ⑧ 学費等の納入が完了していること 【卒業条件】 ④ 卒業年次の出席率が90%以上であること ⑤ 原則として、卒業年次の各科目毎の成績評価がすべてC以上であること ⑥ 学費等の納入が完了していること ※上記に加えて、進級・卒業条件として、該当レベルの認定試験に合格、若しくは同等レベルを要してはならない。認定会議においてその認定を行う。
学修支援等
(概要) 選考料免除制度、指定校推薦制度、コスメット奨学生制度、コスメット特待生制度、マスター特待生制度、兄弟姉妹奨学生制度等により学修支援を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
5人 (100%)	0人 (0%)	5人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) IT 業界			
(就職指導内容) 筆記試験対策・面接対策・業界研究など			
(主な学修成果(資格・検定等)) IT パスポート・基本情報技術者・応用情報技術者・イラストレーター・フォトショップ等			
(備考)(任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
11人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 早期個人面談の実施・保護者への定期的情報伝達・兆候が認められる生徒への担任・教務部長を交えた状況確認及び個別対応		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務専門課程	医療ビジネス科 医療コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 1806 単位時間／単位	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼		634 単位時間 /単位	471 単位時間 /単位	567 単位時間 /単位	134 単位時間 /単位	
			1806 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人 (医 療ビ ジ ネ ス 科 総 定 員)		32人	0人	2人	3人	5人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)	
(概要) シラバスの作成手続きに関しては、年度前に学内の検討委員会で検討したうえで、共通のフォーマットを策定し、作成している。 また「学生の手引き」に掲載して、入学時期に行うガイダンスにおいて周知を図っている。	
成績評価の基準・方法	
(概要) 成績評価をA～Dの4段階で行っている。 成績分布において、下位4分の1がDに相当する。	
卒業・進級の認定基準	
(概要) 【進級条件】 ⑨ 1年次の各科目毎の出席率が90%以上であること ⑩ 1年次の各科目毎の成績評価がすべてC以上であること ⑪ 1年次の検定取得状況が良好であること ⑫ 学費等の納入が完了していること 【卒業条件】 ⑦ 卒業年次の出席率が90%以上であること ⑧ 原則として、卒業年次の各科目毎の成績評価がすべてC以上であること ⑨ 学費等の納入が完了していること ※上記に加えて、進級・卒業条件として、該当レベルの認定試験に合格、若しくは同等レベルを要してはならない。認定会議においてその認定を行う。	
学修支援等	
(概要) 選考料免除制度、指定校推薦制度、コスメット奨学生制度、コスメット特待生制度、マスター特待生制度、兄弟姉妹奨学生制度等により学修支援を実施している。	

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
17人 (100%)	0人 (0%)	17人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 病院・薬局・一般企業			
(就職指導内容) 筆記試験対策・面接対策・インターンシップ事前指導など			
(主な学修成果(資格・検定等)) 医療事務管理士・診療報酬請求事務能力認定試験・秘書検定・サービス接客検定・ エクセル・ワード検定・ホスピタルコンシェルジュ検定等			
(備考)(任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
32人	1人	3.1%
(中途退学の主な理由) 進路変更及び出席不良		
(中退防止・中退者支援のための取組) 早期個人面談の実施・保護者への定期的情報伝達・兆候が認められる生徒への 担任・教務部長を交えた状況確認及び個別対応		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務専門課程	医療ビジネス科 ビジネスコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1774 単位時間/単位	685 単位時間 /単位	428 単位時間 /単位	527 単位時間 /単位	134 単位時間 /単位	
			1774 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人 (医 療ビジネス科総定 員)		28人	0人	2人	3人	5人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)	
<p>(概要)</p> <p>シラバスの作成手続きに関しては、年度前に学内の検討委員会で検討したうえで、共通のフォーマットを策定し、作成している。</p> <p>また「学生の手引き」に掲載して、入学時期に行うガイダンスにおいて周知を図っている。</p>	
成績評価の基準・方法	
<p>(概要)</p> <p>成績評価をA～Dの4段階で行っている。 成績分布において、下位4分の1がDに相当する。</p>	
卒業・進級の認定基準	
<p>(概要)</p> <p>【進級条件】</p> <p>⑬ 1年次の各科目毎の出席率が90%以上であること ⑭ 1年次の各科目毎の成績評価がすべてC以上であること ⑮ 1年次の検定取得状況が良好であること ⑯ 学費等の納入が完了していること</p> <p>【卒業条件】</p> <p>⑩ 卒業年次の出席率が90%以上であること ⑪ 原則として、卒業年次の各科目毎の成績評価がすべてC以上であること ⑫ 学費等の納入が完了していること</p> <p>※上記に加えて、進級・卒業条件として、該当レベルの認定試験に合格、若しくは同等レベルを要してはならない。認定会議においてその認定を行う。</p>	
学修支援等	
<p>(概要) 選考料免除制度、指定校推薦制度、コスメット奨学生制度、コスメット特待生制度、マスター特待生制度、兄弟姉妹奨学生制度等により学修支援を実施している。</p>	

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
23人 (100%)	0人 (0%)	23人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 病院・薬局・一般企業			
(就職指導内容) 筆記試験対策・面接対策・インターンシップ事前指導など			
(主な学修成果(資格・検定等)) 医療事務管理士・診療報酬請求事務能力認定試験・秘書検定・サービス接客検定・ エクセル・ワード検定・ホスピタルコンシェルジュ検定など			
(備考)(任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
28人	1人	3.6%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 早期個人面談の実施・保護者への定期的情報伝達・兆候が認められる生徒への 担任・教務部長を交えた状況確認及び個別対応		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務 専門課程	ビジネスキャリア科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 970 単位時間/単位	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼		571 単位時間 /単位	126 単位時間 /単位	142 単位時間 /単位	単位時間 /単位	131 単位時間 /単位
			970 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
20人		3人	0人	2人	3人	5人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要)</p> <p>シラバスの作成手続きに関しては、年度前に学内の検討委員会で検討したうえで、共通のフォーマットを策定し、作成している。</p> <p>また「学生の手引き」に掲載して、入学時期に行うガイダンスにおいて周知を図っている。</p>
成績評価の基準・方法
<p>(概要)</p> <p>成績評価をA～Dの4段階で行っている。 成績分布において、下位4分の1がDに相当する。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>(概要)</p> <p>【進級条件】</p> <p>⑰ 1年次の各科目毎の出席率が90%以上であること ⑱ 1年次の各科目毎の成績評価がすべてC以上であること ⑲ 1年次の検定取得状況が良好であること ⑳ 学費等の納入が完了していること</p> <p>【卒業条件】</p> <p>⑬ 卒業年次の出席率が90%以上であること ⑭ 原則として、卒業年次の各科目毎の成績評価がすべてC以上であること ⑮ 学費等の納入が完了していること</p> <p>※上記に加えて、進級・卒業条件として、該当レベルの認定試験に合格、若しくは同等レベルを要してはならない。認定会議においてその認定を行う。</p>
学修支援等
<p>(概要) 選考料免除制度、指定校推薦制度、コスメット奨学生制度、コスメット特待生制度、マスター特待生制度、兄弟姉妹奨学生制度等により学修支援を実施している。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
2人 (100%)	0人 (0%)	2人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 病院、一般企業			
(就職指導内容) 筆記試験対策・面接対策・インターンシップ事前指導など			
(主な学修成果(資格・検定等)) 医療事務管理士・秘書検定・サービス接客検定・エクセル・ワード検定など			
(備考)(任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
3人	1人	33.3%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 早期個人面談の実施・保護者への定期的情報伝達・兆候が認められる生徒への担任・教務部長を交えた状況確認及び個別対応		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
商業実務	商業実務 専門課程	公務員科	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 1838 単位時間/単位	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼		913 単位時間 /単位	885 単位時間 /単位	40 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			1838 単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
40人	24人	0人	4人	3人	7人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) シラバスの作成手続きに関しては、年度前に学内の検討委員会で検討したうえで、共通のフォーマットを策定し、作成している。 また「学生の手引き」に掲載して、入学時期に行うガイダンスにおいて周知を図っている。
成績評価の基準・方法
(概要) 成績評価をA～Dの4段階で行っている。 成績分布において、下位4分の1がDに相当する。
卒業・進級の認定基準
(概要) 【進級条件】 21 1年次の各科目毎の出席率が90%以上であること 22 1年次の各科目毎の成績評価がすべてC以上であること 23 1年次の検定取得状況が良好であること 24 学費等の納入が完了していること 【卒業条件】 ⑯ 卒業年次の出席率が90%以上であること ⑰ 原則として、卒業年次の各科目毎の成績評価がすべてC以上であること ⑱ 学費等の納入が完了していること ※上記に加えて、進級・卒業条件として、該当レベルの認定試験に合格、若しくは同等レベルを要してはならない。認定会議においてその認定を行う。
学修支援等
(概要) 選考料免除制度、指定校推薦制度、コスメット奨学生制度、コスメット特待生制度、公務員科特待生制度、マスター特待生制度、兄弟姉妹奨学生制度等により学修支援を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
公務員科			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
23人 (100%)	6人 (26.1%)	12人 (52.2%)	5人 (21.7%)
(主な就職、業界等) 官公庁・警察・消防・一般企業			
(就職指導内容) 筆記試験対策・面接対策・インターンシップ事前指導など			
(主な学修成果(資格・検定等)) エクセル・ワード検定など			
(備考)(任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
24人	1人	4.2%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 早期個人面談の実施・保護者への定期的情報伝達・兆候が認められる生徒への担任・教務部長を交えた状況確認及び個別対応		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務 専門課程	公務員科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数		開設している授業の種類			
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼	1013 単位時間/単位	496 単位時間 /単位	477 単位時間 /単位	40 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			1013 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		43人	0人	4人	3人	7人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>シラバスの作成手続きに関しては、年度前に学内の検討委員会で検討したうえで、共通のフォーマットを策定し、作成している。</p> <p>また「学生の手引き」に掲載して、入学時期に行うガイダンスにおいて周知を図っている。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>成績評価をA～Dの4段階で行っている。</p> <p>成績分布において、下位4分の1がDに相当する。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>【進級条件】</p> <p>25 1年次の各科目毎の出席率が90%以上であること</p> <p>26 1年次の各科目毎の成績評価がすべてC以上であること</p> <p>27 1年次の検定取得状況が良好であること</p> <p>28 学費等の納入が完了していること</p> <p>【卒業条件】</p> <p>⑲ 卒業年次の出席率が90%以上であること</p> <p>⑳ 原則として、卒業年次の各科目毎の成績評価がすべてC以上であること</p> <p>㉑ 学費等の納入が完了していること</p> <p>※上記に加えて、進級・卒業条件として、該当レベルの認定試験に合格、若しくは同等レベルを要してはならない。認定会議においてその認定を行う。</p>
学修支援等
<p>（概要） 選考料免除制度、指定校推薦制度、コスメット奨学生制度、コスメット特待生制度、公務員科特待生制度、マスター特待生制度、兄弟姉妹奨学生制度等により学修支援を実施している。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
公務員科			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
43人 (100%)	13人 (30.2%)	24人 (55.8%)	6人 (14.0%)
(主な就職、業界等) 官公庁・警察・消防・一般企業			
(就職指導内容) 筆記試験対策・面接対策・インターンシップ事前指導など			
(主な学修成果(資格・検定等)) エクセル・ワード検定など			
(備考)(任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
43人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 早期個人面談の実施・保護者への定期的情報伝達・兆候が認められる生徒への担任・教務部長を交えた状況確認及び個別対応		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
情報システム	100,000 円	500,000 円	260,000 円	施設費 140,000 円 実習費 120,000 円
医療ビジネス	100,000 円	500,000 円	260,000 円	施設費 140,000 円 実習費 120,000 円
ビジネスキャリア	100,000 円	500,000 円	260,000 円	施設費 140,000 円 実習費 120,000 円
公務員 1 年課程	100,000 円	600,000 円	150,000 円	施設費 120,000 円 実習費 30,000 円
公務員 2 年課程	100,000 円	600,000 円	150,000 円	施設費 120,000 円 実習費 30,000 円
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 「令和2年度学校自己評価報告書」を学校事務室にて備え付け、公表している。		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
本校の学校関係者評価は『専修学校における学校評価ガイドライン』(文部科学省生涯学習政策局)に即して行うことを基本方針とする。実施方法は評価項目(教育理念・目標、学校運営、教育活動等)について学校関係者評価委員により意見を聴取した。評価結果の活用については自己評価委員会に報告し、学校全体の共通認識のもとで改善に努める。委員会体制は事務局に事務局長、学校長、教務部長、学科長を配置し、企業及び本校卒業生から委員を6名程度委嘱する。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
原田株式会社 事務機部技術課科長	平成31年4月1日から 令和3年3月31日まで	IT 業界関係者
看護師	平成31年4月1日から 令和3年3月31日まで	医療事務業界関係者
和食処経営	平成31年4月1日から 令和3年3月31日まで	本校卒業生
佐賀県剣道連盟師範	平成31年4月1日から 令和3年3月31日まで	元公立学校校長
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 「令和2年度学校関係者評価報告書」を学校事務室にて備え付け、公表している。		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		



c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

<http://www.cosmet.ac.jp>